日本数学教育学会

論文執筆における引用・参考文献の記載方法

１．引用・参考文献の記載順序

著者の姓の英文標記に基づいてアルファベット順とする．したがって、英文（欧文）がある場合、和文英文（欧文）の混在型となる．

２．引用・参考文献の記載項目と形式

(1) 英文（欧文）文献の場合（APA スタイルに従う）

１）単行本（著書）

著者名　出版年（西暦）．書名（イタリック）．出版場所：出版社.

【例 1】Lewis, C. (2002). *Lesson Study: A handbook of teacher-led instructional change*. Philadelphia: Research for Better Schools.

２）単行本（分担執筆）

著者名　出版年（西暦）．章等の標題．編集者名，書名（pp. 掲載開始ページ－掲載終了ページ）．出版場所：出版社.

【例 2】 Niss, M. (2008). Perspectives on the balance between applications and modelling and 'pure' mathematics in the teaching and learning of mathematics. In M. Menghini, F. Furinghetti, L. Giacardi, & F. Arzarello (Eds.), *The first century of the International Commission on Mathematical Instruction* (pp.69-84). Rome: Enciclopedia Italiana.

＊編集者名と書名の間はカンマで区切り，その他はピリオドで区切る.

３）学会誌・学術雑誌等

著者名　出版年（西暦）．論文名．学会誌名（イタリックで），巻・号，掲載開始ページ－掲載終了ページ（pp.はつけない）.

【例 3】Pepper, D. (2011). Assessing key competences across the Curriculum - and Europe. *European Journal of Education*, 46(3), 335-353.

＊学会誌名と巻・号の間，巻・号と掲載開始ページの間はカンマで区切り，その他はピリオドで区切る.

(2) 日本語文献の場合

１）単行本（著書）.

著者名　出版年（西暦）．書名．出版社.

【例 4】島田茂編(1977)．算数･数学科のオープンエンドアプローチ－授業改善への新しい提案－．みずうみ書房.

２）単行本（分担執筆）

著者名　出版年（西暦）．章等の標題．編集者名，書名（pp. 掲載開始ページ－掲載終了

ページ）．出版社.

【例 5】杉山吉茂（2010）．数学教育本質論．日本数学教育学会編，数学教育学ハンドブック（pp.18-29）．東洋館出版社.

＊編集者名と書名の間はカンマで区切り，その他はピリオドで区切る.

３）学会誌・学術雑誌等

著者名　出版年(西暦)．論文名．学会誌名，巻(号)，掲載開始ページ－掲載終了ページ（pp.はつけない）.

【例6】日本数学教育学会教育課程委員会(2016)．学習指導要領算数･数学科改訂に向けた教育課程論の展開．日本数学教育学会誌， 98(1), 11-44.

＊学会誌名と巻・号の間，巻・号と掲載開始ページの間はカンマで区切り，その他はピリオドで区切る.

(3) Web サイトからの引用

サイトの URL 及び最終確認日を記載する.

【例 7】国立教育政策研究所（2016）.平成 28 年度全国学力・学習状況調査報告書【中学校数学】http://www.nier.go.jp/16chousakekkahoukoku/report/16middle/16math/（2017.6.18 最終確認）